

取扱説明書

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます
ご使用になる前に取扱説明書(本書)及び、安全上の注意をお読み頂き正しくお使いください

内容詳細

1. 真空ポンプ本体	1
2. 変換アダプター (1/4"FL(双)×5/16"FL(双))	1
3. 変換アダプター (1/4"FL(双)×M10 FL(双))	1
4. 真空ポンプオイル	1

本品の特徴

- 高真空度・高信頼性を達成した真空ポンプです
- 変換アダプターにより、各フルオロカーボンのフレアーに取り付きます
- オイル逆流防止のため、電磁弁を装着してあります
- 自動復帰型のサーマルプロテクタを内蔵しています。

仕様

品番	RP2500	
ローター数	2 (ツーステージ)	
排気速度 (リットル/分)	72L/分 50Hz	86L/分 60Hz
回転数 (rpm)	2800rpm	3300rpm
到達真空度	3Pa (25ミクロン)	
重量 (kg)	8.9kg	
電源電圧	AC100V 50Hz/60Hz	
サイズ	(縦)124mm×(横)322mm×(高さ)235mm	
消費電力 (W)	250w	
吸入口	1/4" MFL (7/16UNF20)	
オイル (cc)	270cc	

ご使用前注意事項

この真空ポンプは、メーカー試験後、オイルを抜いて輸送されています。使用前に必ずオイルを補充してください。
オイルを入れずに動作させたことによる故障・不良等は保証対象外となります。

①オイルを補充する前に、ケーシングの前方下部にあるドレンボトルが閉じていることを確認して下さい。

②真空ポンプ上部にある給油プラグを外して、オイルを入れてください。

③サイトグラスにあるレベルラインの上までゆっくりオイルを入れてください。

入れ過ぎには十分注意してください。

④給油プラグを閉め込んでください。(オイルの量は運転中にサイトグラスを見てレベルラインまであれば適量です。)

使用方法

- ①吸入口に使用冷媒に合った変換アダプターを取り付けてください。
- ②吸入口または、変換アダプターにマニホールドゲージのチャージングホースを接続してください。
※外気温が低い場合は、接続前に真空ポンプを数分間ウォームアップしてください。
- ③真空ポンプの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※電圧降下を防ぐため、なるべくコードリールの使用は避けてください。
- ④マニホールドゲージの高圧・低圧バルブを開いてください。
- ⑤真空ポンプの電源スイッチを【ON】にしてください。
- ⑥真空引きの時間は、各エアコンメーカーのマニュアルに従ってください。
- ⑦マニホールドゲージの高圧・低圧側バルブを閉じて、ゲージの針が上がらないことを確認してください。
(リークチェック)
- ⑧真空引きが完了したら、真空ポンプの電源スイッチを【OFF】にしてください。
※真空ポンプアダプターは必ず弊社製品をご使用ください。
吸入口とハンドルの位置が近いので、他社の真空ポンプアダプターは取付が困難な場合があります。
- ⑨**運転終了時は、吸入口に何も付けられない状態（ホース／保護キャップ／シールキャップ等）で5秒程度空運転してから電源スイッチをお切り下さい。この操作を行わない場合、次回の電源ON時に真空ポンプが起動しないことがあります。**

寒冷時の運転

- ①冬季において、寒冷地や屋外で使用する場合に、真空ポンプの起動が困難になることがあります。
真空ポンプオイルの粘度が高くなったことによる、過負荷現象です。対応としては真空ポンプオイルを温めるか、真空ポンプの寸動（短時間のON/OFF運転）を繰り返し行ってください。この場合、吸入口には何もつけない状態で寸動を行ってください。

オイル交換

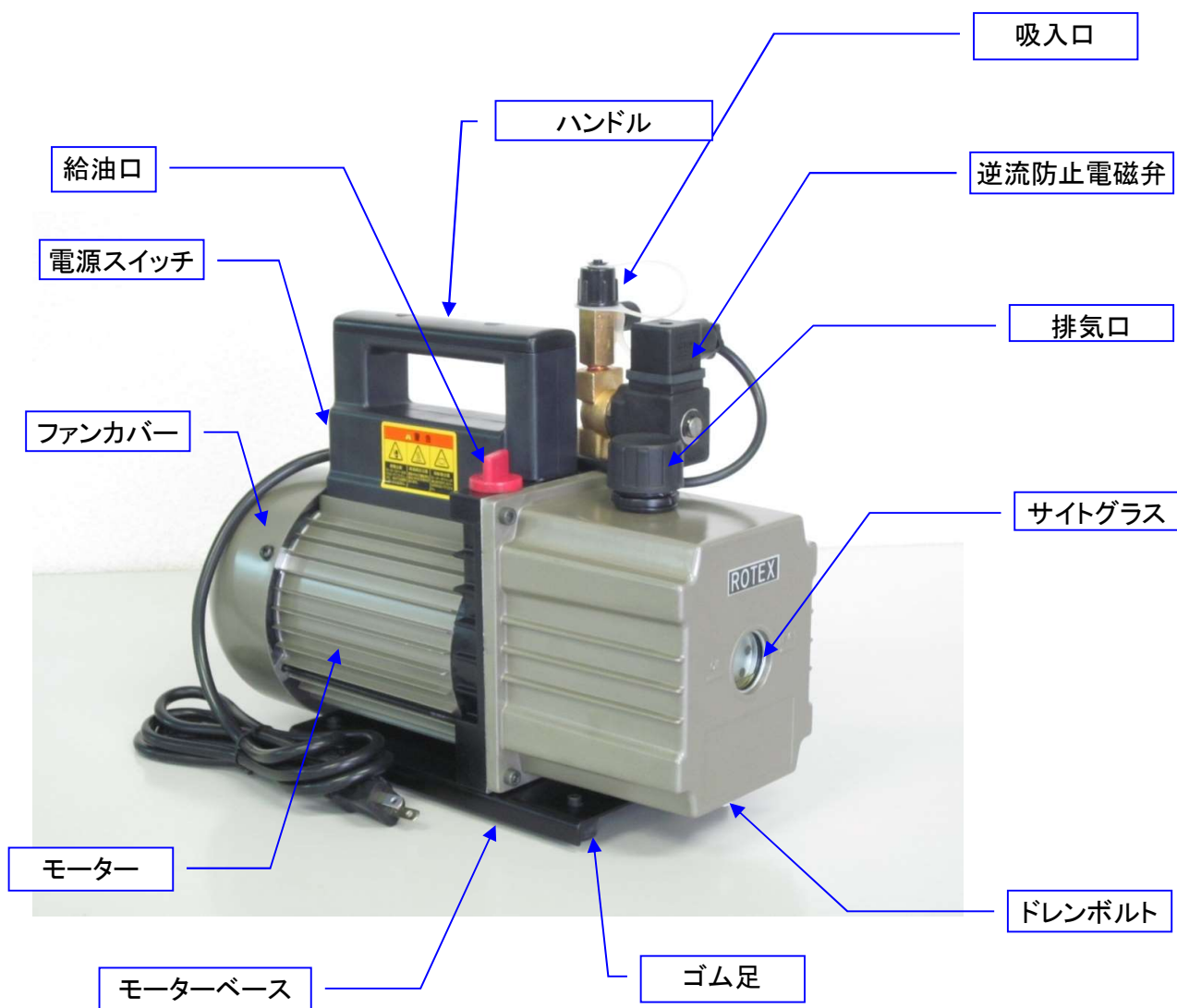
十分な到達圧力を得るには、真空ポンプオイルをきれいにし、真空引き中も水分に触れさせないようにする必要があります。汚れたオイルは腐食性の酸や水分を含み、真空ポンプの能力に悪い影響を与えます。

又、その状態のまま放置すると、スラッジ内部表面にサビが発生したり、腐食等により真空ポンプの寿命を短縮させます。オイルが目に入らないように十分注意してください。オイルは熱くなっております。

交換したオイルは漏れない容器に入れ、正しい方法で処理してください。

- ①オイル交換をする前に、真空ポンプを空運転してオイルを温めてください。
- ②給油口を外してください。
- ③ドレンボルトを緩めて、オイルを排出してください。
- ④給油口から新しいオイルをサイトグラスを見て、レベルラインまで入れてください。
- ⑤次に真空ポンプの電源プラグをコンセントに差し込み、運転してください。
運転中にサイトグラスを見て、オイルがレベルラインまであれば適量です。
入れ過ぎに注意してください

各部名称



〒230-0002

神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町3-43

株式会社 ロテックス

TEL : 045(580)4790 FAX : 045(580)4791

E-mail jyuchuka@rotex.co.jp